

## ☆第 18 回 半導体スピン工学の基礎と応用☆

PASPS-18 (Physics and Application of Spin-related Phenomena in Semiconductors)

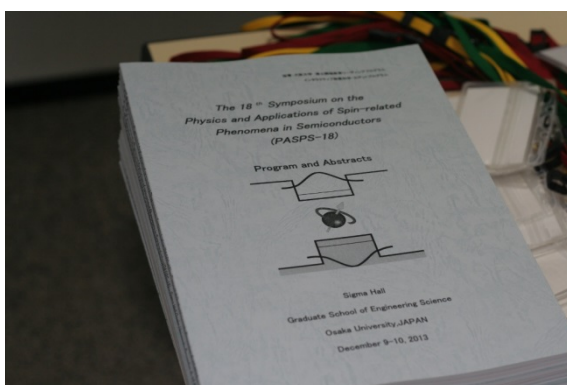
共催：インタラクティブ物質科学・カデットプログラム

日時：2013年12月9日(月)～10日(火)

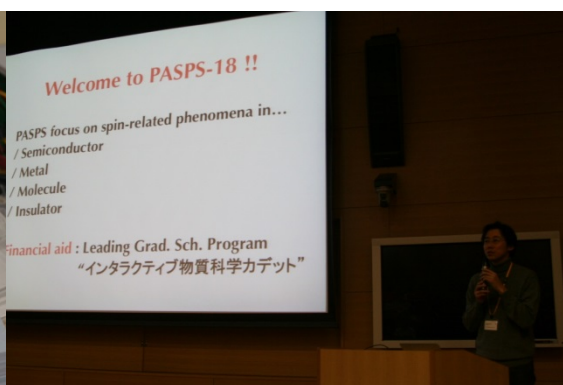
場所：大阪大学豊中キャンパス 基礎工学国際棟

参考 URL：<http://ftp.semi.ee.es.osaka-u.ac.jp/shiraishilab/PASPS-18/index.html>

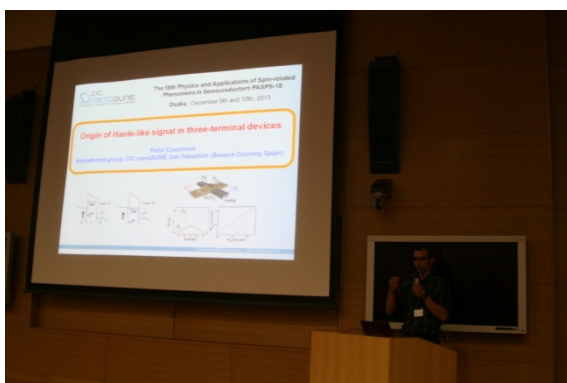
PASPS(Physics and Applications of Spin-related Phenomena in Semiconductors)は、1995年に東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究として開催されたのが最初で、その後ほぼ毎年回を重ね、今年で18回目を迎えました。この研究会では、国内の半導体スピントロニクスに関連する研究者が一同に会し、未発表データも含む最新の研究成果を発表・議論することにより、研究の進展、情報交換および研究者間の親睦を図ることを目的としています。



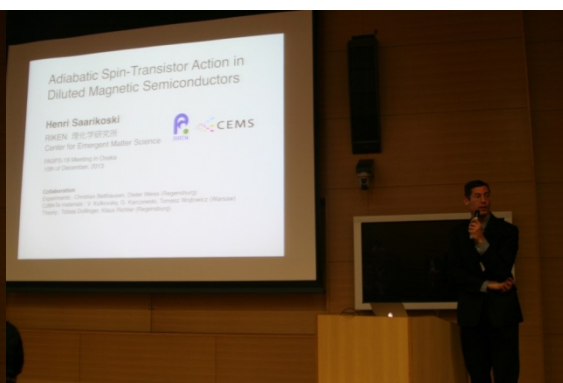
シンポジウム冊子



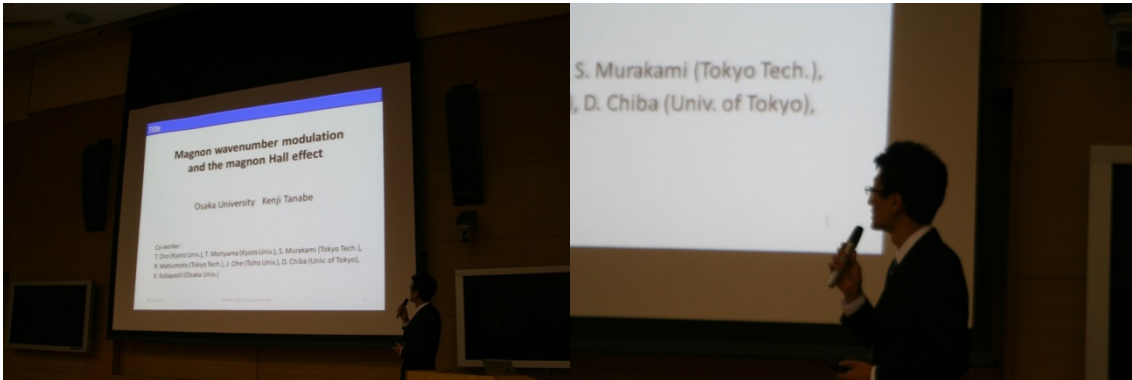
白石 誠司教授 開会挨拶



Prof. Felix Casanova 招待講演



Dr. Henri Saarikoski 講演



田辺 賢治 特任助教 招待発表



ポスターセッションの様子



白石 誠司教授

<主催した先生から>

歴史ある PASPS を今回阪大で開催させていただくにあたり、カデットプログラムから多大なご支援をいただき心から感謝する次第である。幸い約 70 名の研究者が国内外から結集し、実り多い議論を交わすことができた。特に海外からの招待講演者の講演は好評であり、ポスターセッション時にも盛んに議論が行われたのは主催者としても大変嬉しく思っている。

(白石 誠司教授)